

市民意見募集（パブリックコメント）結果

「和歌山市ごみ処理施設整備基本計画（案）」に対するご意見を募集した結果、118 件のご意見をいただきましたので、次のとおり公表します。貴重なご意見ありがとうございました。

なお、お寄せいただいたご意見につきましては、内容ごとに整理集約しております。

■募集案件の概要

募集案件	和歌山市ごみ処理施設整備基本計画（案）
受付期間	令和 6 年 1 2 月 1 2 日～令和 7 年 1 月 1 0 日
ご意見の件数	67 名・118 件

■ご意見の概要と市の考え方

●説明会に関する意見

No	ご意見の内容	市の考え方
1	パブリックコメントについては、了としますが周知（市報わかやま等）について事前にするべきであったのではないかと市民に知らせず意見を伺うことは内容もわからず一方的なやり方は民主主義化において問題があります。	今回の意見募集の周知については、和歌山市ホームページ、SNS 等を活用し行いましたが、今後は市報、回覧等も活用し幅広く知っていただけるよう努めてまいります。説明会については実施の準備をしており、現在の施設の状況、これまでの経緯や今後の考えについてもわかりやすく丁寧に説明します。日程等、詳細が決まり次第お知らせいたします。
2	パブリックコメントをやる前に市民に丁寧に説明し、市民の疑問にも答える説明・質問会を最低でも市役所と各コミュニティセンターで、昼間と夜に 1 回ずつ開催すべきです。ごみ問題は今後の和歌山市だけでなく地球規模での非常に大事な問題です。ごみ処理施設を新設したからといって解決する問題ではありません。もっと市民と話し合って、一緒に考えて進めるべきです。今回のこのようなやり方では納得できません。まず、最低でも市役所と各コミュニティセンターで、昼間と夜に 1 回ずつ「ごみ問題を考える会」を開催し、続いて「ゴミ処理施設の整備の説明・質問会」を同様に開催してからパブリックコメントを取り直してください。よろしくお願いいたします。	
3	このような建設費、事業費が数百億円もかかる事業について、市民への告知が十分ではない。私のまわりでも知っている人は一人もおらず、行政としてこのまま進めることには疑問がある。	
4	ゴミについては、私たち市民の生活に日常的にかかわる問題であり、減量や分別、環境問題について検討し論議すべき問題だと思う。「意見書」だけで市民の声とせず幅広く市民への説明と議論をしてほしい。	

5	現行の青岸がすぐに使用不能になるわけではない。じっくり時間をかけて多くの市民の疑問や意見に耳を傾けて、丁寧な説明と納得の上で進めるべきだと思う。	
6	「ごみ処理」は家庭にとっては大変重要な問題です。自治会長だけへの説明では不十分です。住民への説明をきちんとすべきです。市議会で検討されていると思いますが、情報がありません。	
7	処理施設の老朽化の改修は賛成しますが私の知り得たのは昨年年末でした。あまりにも急なことです。12月議会での議題であったと思いますが住民への説明もなく進められ、決定すると云うのは余りにも暴挙です。説明会を開き、住民の声を聞いて下さい。10日までのパブコメは短いのと説明を絶対に行うべきです。行政のおごりに他なりません。	
8	こんな重要な問題を短期間で決めようとするな！もっとこのことを住民全員に知らせ、詳しく説明会を市内全域で行い、住民が理解し納得を得た上で、そして住民の意見を広く聞くべきです。こんなやり方は一方的で、知った人は少ないと思う。みんなに知らせよう！その努力を年末年始の休みの間に進めようとするやり方はおかしい。裏に何かあるのでは？	
9	市民にとって大切な場所なので、勝手に話を進めるのではなく、市民に開かれた説明会を開き、意見を聞いた上で、議会にはかるようにお願いします。	
10	ごみ処理施設整備基本計画（案）について、市民にわかるように説明会を何回でもいいのでみんなにゆき渡るまでして下さい。市民の理解はあってからでないと困ります。	
11	ごみ処理施設建替えの情報は全く知りませんでした。高額な費用が発生する案件なので、事前に市民に伝えて採決をとって欲しいと思います。	
12	現在の場所から西防波堤埋立地内（県所有地）に移転方針で進めているとのことであるが、膨大な費用をかけての移転に具体的（効率、利便性、耐久性、その他）な説明が必要である。 各地域のコミュニティセンターを利用して、市民・住民の方々に対する説明会ぜひ開催して貰いたい。	

13	それにしても多額の事業費用を使ってでも計画するに至った経過報告、稼働方法、一般搬入方法に最低限市民に説明し賛同を得るべきだと思います。コミュニティセンター等を活用し市民が納得出来る説明をしていただく事をお願いします。	
14	詳しい話がよく分からない。そんな中において、パブリックコメントなどあり得ない。広く市民に向けて説明会の必要性を感じている。	
15	パブリックコメントを集める時期も期間も短すぎると思います。市民への説明不足、検討不足だと思います。	
16	ごみの収集日や分別法の変更点など早目に周知してほしいです。費用をどうやってまかなうかといったことやごみの処理方法などについての説明を希望します。	
17	ごみ処理施設の新設にあたり、こんな急な話はないと思います。「突然ごみ処理施設が変更されます。」といわれても、市民は「寝耳に水」状態。しっかりとした説明をした上で、計画をしていかなくは、税金を負担している側としては、まったく納得がいきません。	
18	パブリックコメントについて知ったのは、1 月になってからです。1 か月の期間あったようですが、知りませんでした。ごみは水と同じく大切な問題です。できれば市民に説明会をして欲しくをお願いします。	
19	まずは、説明会を開くなど、連合自治会長だけでなく広く市民に周知したうえで、意見募集するのが筋だと思います。でなければ、「市民の意見も聞きました」というアリバイ作りのためのパブコメ募集、と言わざるを得ません。今からでも、是非、説明会を開催して下さい。和歌山市は、市民図書館の建て替えに際しても、指定管理制度への変更を懸念する市民たちが情報開示を望んでも、ひたすら伏せ続け、水面下で薦屋による指定管理を目指しておられました。こういったやり方が市政への不信感を生んでいます。市民に隠すのではなく、大事な案件については計画段階から、市民と共に考えながら行政を進めていただきたいと思います。	

20	和歌山市ごみ処理施設整備計画があるということを 本日知りました。市報に載っているそうですが、テレ ビ、ラジオなどのメディアを通して、もっと市民に知 らせてほしいです。住民説明会はされないそうですが、不安に感じている人も多いと思います。よろしく お願いします。高齢者は QR コードで読み取ることは 難しいと思います。できれば住民説明会をしてほしい です。
21	市報 12 月に載っていませんでした。初めて聞きました。 もっと説明をしてほしいです。ごみの出し方が細 かくなるのは、今のやり方に慣れているので皆さん苦 労するのではないのでしょうか。決まってからの説明よ り決まる前にもっと話し合いが必要だと思います。
22	パブリックコメントを募集しておられましたが、その 前に説明会を開いてもらいたいと思いました。誰でも ごみに関心を持っています。市民税も有効に使ってい ただいているとは思いますが、ごみについて必要な分 は、もちろん使っていただかなくてはなりませんが、 どうしても環境に負荷を与えますので、行政におまか せというのでなく、市民も理解し、共に良い選択がで きるように、計らっていただきたいと要望します。
23	ゴミ処分場の移設は、多額の費用がかかり、市民生活 にも多大な影響があるため、市内各所で説明会し意見 を求める場を設定していただきたい。青岸エネルギー センターが 40 年も稼働していたのを知っておどろき ました。では、どうするということで建て替えをして もらわないとだめであるのは分かります。新たな処理 施設を作る事について情報が少なく、意見が述べられ ません。住民説明会を開いて下さい。市の考えを知り たいです。他の市民の方の考えを知りたいです。(意見 交流)これを機会に、市の仕事を分かってもらうのは 市にとってもいいことだと思います。
24	たくさんごみを処理していただき、ありがたく思っ ています。計画(案)の説明が理解しにくいので、住民 説明会を開いて、詳しく教えてください。
25	何百億も使うような事業計画を説明もなしに実行さ れても困ります。住民中心の和歌山市政を実行してほ しいです。

26	整備計画まだまったく知りません。パブコメが募集されていることで、初めて何??があるという感じです。ぜひ説明会など開いて下さい。私たちのごみ問題いっしょに考えたいです。	
27	何も詳しく説明されてないではないか。税金を使って建設するのであればもっと詳しく市民に説明してほしい。パブリックコメントの期間が短すぎる。意見を聞く気はあるのか。市の姿勢が問われますね。市長はどうお考えですか。	
28	今日初めて耳にしたばかりで市民は知らない人が多数だと思います。是非ともまずは住民説明会を開いて下さい。大きな税金が使われる大切な計画を、市民がともに考えたく、よろしくお願いします。	
29	建て替えのことを知っている市民が少ない。周知が足りない。	
30	パブリックコメントの募集をする前に和歌山市ごみ処理施設整備基本計画（案）について、私たちに説明会を開いてください。本当に市民の意見を聞くつもりであればですが。	
31 ～ 64	住民説明会を開催してほしい (同種意見 34 件)	

●施設に関する意見

No	ご意見の内容	市の考え方
65	40 年の稼働で新しく建設が必要ですか？莫大な予算を見込んでいるが、今現在の施設をもっと利用して使用可能ではないか、と思います。	ごみ焼却施設は高温・多湿や腐食性の環境で稼働しているため、耐用年数が短いとされており、一般廃棄物処理事業実態調査によると、平均供用年数は 30.5 年となっています。青岸エネルギーセンターは、基幹改良工事で施設の長寿命化を行い、使用年数の延長を図りました。令和 15 年の新施設稼働時には 48 年目となり、建物の老朽化に伴う安全性と安定処理に懸念があります。(仮に青岸エネルギーセンターを改修しようとしても、その間、ごみ処理を行う施設がありません。) また、青岸クリーンセンターは、設備更新を行っても、ごみを貯めるピット容量が不足しているため、毎年の焼却炉の点検期間にごみを外部に処理委託する必要があります。令和 15 年には
66	ゴミの処理方法の方向性をもっと具体的に示す必要があるのではないか。今の施設で、どの様なデメリットがあつて、新しく建て替えるのかの説明がほしい	
67	新しい施設と旧施設のメリット、デメリットの具体的な説明がほしい。そして旧施設では出来ないのか、その説明もほしい	
68	青岸では建て替えがなぜできないのか	
69	現在の青岸エネルギーセンターの建設時、設備の耐用年数が 40 年ぐらいということは分かっていたのでしょうか。	
70	新設する設備の耐用年数は何年でしょうか。	

71	日々の生活で発生する市民のごみを処理していただいていることに敬意と感謝を申し上げます。 現在の施設が 38 年を経過したということですが、国の原発などは 50 年を超えても稼働させています。施設の耐久性などについては、私にはわかりません。もしも修繕して使えるのであれば青岸エネルギーセンターを残して大切に管理運営を続けてほしいです。 2018 年の台風で埋め立て地沿岸の釣り公園やその沖の一字波止が壊れました。その前の台風で沖に停泊中の貨物船が漂流し埋め立て地のテトラポットに乗り上げる事故もありました。 場所的に「津波」「高波」「液状化」など、機能的に「低稼働率」「故障」を心配します。物価高騰で市民が苦しんでいるときに市税を 610 億円も投入するより現状のまま継続することができないのかよく検討していただきたいです。	竣工後 35 年を経過し、建物の使用年数を考慮すると、更新後の稼働期間は、15 年程度となります。 青岸での建替えは、基本計画でも検討を行いましたが、車両動線の確保が難しく、敷地内に計画施設を配置することができません。 新しい場所に移転することで土地の広さを活かし、青岸エネルギーセンター、青岸クリーンセンター、青岸ストックヤードの 3 施設体制から 1 施設での施設運営が可能となり、ランニングコストの削減や脱炭素への取組みが行えます。 また、十分な防災対策を行うことで安全性が確保できると考えています。
72	青岸エネルギーセンター約 40 年稼働とのことで施設としての寿命が迫っているとのことであるが、修理方針で改善できないのか？移転がなぜ必要であるか？	
73	日常、一般家庭へのごみ収集及び粗大ごみの収集には大変有難く大助かりです。現在、青岸クリーン収集センターは 40 年間稼働し修復出来ない状況となり寿命が迫っている為、やむなく移転した方がよいと今回判断され計画されていたのでしょうか。	
74	壊して建てるやり方は、もうやめにしませんか。今ある建物を手入れしながら使い続けることが一番エコだと思います。和歌山城ホールも、40 億で市民会館をリニューアルするよりも 60 億で新しいホールを建てると言っ、今のホールを建てましたが、100 億を超える費用がかかり、市民会館の方がずっといいホールです。	
75	建設後、現在のエネルギーセンターの活用はどうなりますか。	青岸エネルギーセンターを引き続き使用するには、建物の老朽化に伴う安全性に懸念があります。国からの財政支援等総合的に考慮し、解体する方向で検討していますが、跡地利用については未定です。

76	どんな施設になるのか。	基本計画（案）P6 に記載している施設整備の基本方針に基づき検討しています。
77	ごみ処理施設が建て替えられるそうですが、どこにどんな施設が建てられるのでしょうか。たくさんの税金を使って作られるので、市民にとってより良い施設であるだけでなく、環境にとっても、優しいものであって欲しいです。	①持続可能社会の形成に寄与する施設 ・ごみ処理に伴い発生するエネルギーを効率的に活用する施設とする。 ・カーボンニュートラルに関する取り組みを強化し、脱炭素に寄与する施設とする。 ②安定的で、安全・安心なごみ処理を確保する施設 ・安定的な処理体制を確保できる施設とする。 ・安全な運転に努め、地域住民の安全・安心を確保できる施設とし、建設工事中の安全対策や災害時の防災機能にも配慮した施設とする。 ③地域と共存する施設 ・環境学習を推進するとともに、ごみ処理に関する情報発信を行い、住民の意識向上に資する施設とする。 ④経済性に優れた施設 ・施設整備にあたっては、環境保全や安全対策に十分配慮した上で、設備の合理化・コンパクト化を図り、建設費及び維持管理費を節減するなど、財政支出が可能な限り低減できる経済性に優れた施設とする。 基本方針を念頭に基本設計でどのような施設とするか検討を進めていき、今後の進捗については適宜、お知らせするよう努めていきます。
78	ごみを燃やして出た熱を利用した発電できる装置ができればいいと思いますが・・・	青岸エネルギーセンターでは竣工時の昭和 61 年から焼却した廃熱を有効利用するため発電や暖房等に活用しています。新施設では、ごみ発電はもちろん、エネルギーの更なる有効活用に努めます。
79	ストーカ式焼却方式がシャフト式ガス化熔融方式より勝っているとの結論だが、数値がないので分からないのだが？	基本計画（案）P36 表 8-1 で相対評価しています。処理方式については、実績が多く技術的にも確立している方式を採用することで、安定したごみ処理が行えると考えました。

●用地に関する意見

No	ご意見の内容	市の考え方
80	移転場所が西防になっているが、津波の浸水予定地になっており妥当なのでしょうか、そういう場所は分かっているなら除外するべきだと思います。	ご意見のとおり西防波堤沖埋立地及び青岸をはじめとする沿岸地域は津波に対する影響が想定されます。防災ハザードマップによると、西防波堤沖埋立地については、津波の最大浸水深が2m、青岸は3mであり、今よりも津波のリスクは軽減できると考えました。廃棄物処理施設の建設は一定の面積が必要であり、和歌山市内でリスクの少ないまとまった土地の確保は難しく、県に相談したところ、西防波堤沖埋立地であれば協力が得られるとのことで、予定地として進めてきました。津波対策は、今後行う予定の基本設計、実施設計において最適な工法を選定していきます。
81	建設予定地は県所有地となっていますが、無償貸与なのでしょうか。	市の負担が抑えられるよう県と協議していきます。
82	今回の計画は610億円の施設を住金沖の埋め立て地に建設するようですが、地盤が弱い埋め立て地では必ず起こりうる大地震に耐えられるのか心配です。	今後の基本設計、実施設計では、専門知識や経験を有する技術士や業務経験者を配置させ検討を進めます。また、基本設計時に地質調査を行い、地盤の強度や特性に応じた最適な工法を選定し、施設の安全性を確保します。
83	埋め立て地の移転は地震などに対応できる強度があるのか心配です。近い将来南海トラフが来るといわれていますので、新しく造ったものが無駄にならないような耐震があるのでしょうか？	
84	地震で埋立地が液状化しないのか？対策はあるのか？青岸エネルギーセンターは地下の堅い岩盤に杭を打っていて頑丈だと聞いたが、新規設備は地下の堅い岩盤に杭を打てるのか？	
85	大きな懸念は、建設予定地が、廃棄物の埋立地である事です。掘削などの工事に伴う粉塵が市街地に流れるのを、どのように防ぐのでしょうか？掘り起こされた廃棄物と土壌は、「適正な」とあるだけで、具体的にどのように処理するのか、全く示されていません。これも民間に丸投げで、市は責任を持たないのですか？	作業時には周辺環境へ影響が出ないよう散水等の飛散防止対策を行います。市は発注者として、法に従い適正に処理されていることを確認します。
86	建設候補地内は埋立地で「地中には層厚10m程度の廃棄物が埋められており」と書かれている。工事で掘り返すとき外部に廃棄物が拡散されないか不安である。	

87	新しく建設する場所について、西防波堤沖埋立地はごみを捨てた場所です。建設するには不適切です。公害が出ます。また、ごみ処理のガスも南風で松江に流れます。	新施設については、周辺環境へ影響がないように法令基準等を遵守し、適正に管理します。
----	---	---

●メタン発酵設備に関する意見

No	ご意見の内容	市の考え方
88	今後のバイオマス発電の取り組みについて、和歌山市として、どの様に考えているかを聞きたい	国では 2050 年までに温室効果ガスの排出を実質ゼロとする「カーボンニュートラル」が宣言されました。廃棄物系バイオマスの利活用について、「温室効果ガスの排出削減により気候変動対策にも資することから、地域特性に応じて、ごみ飼料化施設、ごみ堆肥化施設、燃料化施設、メタンを高効率に回収する施設等の整備を推進する」としており、和歌山市では新たな脱炭素への取り組みを検討するにあたり、ごみ発生量・敷地条件・事業費に占める財政支援等から焼却施設にメタン発酵設備を併設する方式を採用することとしました。
89	特にメタン発酵施設を併設するなら、和歌山市の今のようなごみ分別では無理です。非常に細かな分別をしなければ、メタン発酵施設は十分に稼働できないばかりか、修繕費やランニングコストが将来の市財政を圧迫する可能性があります。処理施設整備の前に、和歌山市のごみ分別をどうするのか市民と十分に話し合うことが大事だと思います。	メタン発酵設備とは、生ごみを発酵させメタンガスを生成する方式であり、作られたガスは発電や燃料等への応用が期待されています。さらにメタン発酵方式を導入することでごみの焼却量を減らすことができ、焼却規模の縮小が図れることから環境負荷の低減につながります。なお、収集したごみを機械で選別しますのでメタン発酵設備の設置に伴う分別方法の変更は考えていません。
90	生ごみによるメタン発酵方式にも問題があるように感じます。再生エネルギーは良いことですが、異物が混入すれば故障するような指摘もあります。和歌山市民全員がかなり高い意識でごみの分別をしなければならず、また回収した生ごみを作業員（職員）がチェックすることが可能なのか？私の住む地域周辺のごみ出し一つ見ても決まった日に出さないとか普通ごみの日に粗大ごみが出されていたりすることがあります。一昔前には「コンポスト」というのが出回り生ごみを肥料にする動きもありましたが、生ごみだけを分別することが大変で現在ではたまにしか見かけません。高額な市税を投入して大丈夫なのか、低い稼働率とならないか、故障など不具合の連続で修理費用がかさまないか心配です。	

91	処理方式がストーカー＋メタン発酵方式となっているが、ごみの「分別がどのように」変わるのか？わからない!!	
92	収集方法はどうか？ 現機種になって、プラスチック類を含む可燃物が一括で出せたが、新機種ではどうか。「メタン発酵方式」が加わっているが、これの対応はどうか。	
93	「メタン発酵方式」はどういう方法か。またごみを出す側にはどういう対応が発生するのか？	

●事業費に関する意見

No	ご意見の内容	市の考え方
94	交付金や地方債を活用しているが「現時点での概算」としており今後の物価高で増額が予想される。その場合の対応について説明が欲しい。	物価変動等を考慮しながら適正な事業費を算定し、事業を進めていきます。
95	工事費用が 600 億円以上かかるのが妥当なのでしょう	事業費については、当該基本計画策定業務の受注者に技術士や施設整備計画の業務経験者を配置させ試算したものです。 事業費は本市の処理規模と同程度の受注実績があるプラントメーカーに、事業費の見積と 20 年間の運営検討を含めた調査を依頼し、回答があった 4 者の資料を精査しました。 その結果、整備方式は「公設民営方式（DBO 方式）」、建設概算事業費は、最高値を除く 3 者平均値の約 611 億円と設定し、運営費は約 329 億円/20 年（参考：R4 年度決算額は約 18 億円）となりました。今後実施する基本設計等で更に精査をします。
96	建設費用が 610 億円と膨大すぎないですか？先年の水道管破裂による費用の大きさなど財政支出肥大化が市民の負担がさらに大きくなるか？	
97	施設建設にいくらかかるのか。	
98	建設費と運営管理費（20 年）で 940 億円。こんなに必要なのか？	

●環境影響に関する意見

No	ご意見の内容	市の考え方
99	私は松江に住んでいて、西防波堤沖に LNG 火力が作られると聞き、住金の公害に加えて NO2 が発生すると測定を始めました。今は少ない話ですが、1 年で 1 度測定しています。 公害を出さないようにして欲しいと思っています。	新施設については、排ガス等の排出基準を順守し、周辺環境へ影響がないように適正に管理します。
100	気候条件に風向きがないのはなぜか？和歌山市への影響が分かりにくいので、気温や湿度だけでなく風向きも記入してほしい。	新施設建設による影響は、今後実施する生活環境影響調査で行います。その中で風向、風速、気温、湿度などの気象データを 1 年通して測定します。

101	各種検査や監視は和歌山市が定期的にするのか？公害防止目標値が守られていることを確認する方法は？確認する責任者は誰か？	焼却施設の公害監視に関する責任者は和歌山市であり、定期的に専門の会社による排ガス測定を実施し、和歌山市のホームページ（青岸清掃センター）で公開しています。今後も同様の対応をしていきます。
102	排水が公共用水域に排出されることを懸念するが、近隣の漁業者や磯ノ浦海水浴場に詳細な情報を出して了解を得ているのか？	排水は施設内で再利用します。一部は高度処理設備で処理を行い、排水基準を順守し放流します。今後実施する生活環境影響調査の中で、周辺環境への影響について調査を実施し対応します。

●その他意見

No	ご意見の内容	市の考え方
103	現機種に変わった時点で、耐用年数がわかっていたはず。もっと前より準備できたし、市民の意見もきけたはずなのに、こうも急に、しかも短期ではよく検討することができない。なぜこうも急ぐのか。	和歌山市で発生するごみ量を適正に処理できるよう、各施設の設備寿命を予測し、財政負担の軽減を図りながら将来計画を検討してきました。令和5年度からは技術士や施設整備計画の業務経験者等の専門家を交え計画（案）を作成しております。今回は本計画（案）について市民のご意見をうかがうためパブリックコメントを行いました。
104	<意見>西防波堤沖埋立地への新ごみ処理施設の建設は一旦凍結して、青岸クリーンセンターのごみ焼却炉の利用を一から検討していただきたい。 <理由1>図 2-1 現在のごみ処理の流れによると青岸クリーンセンターのごみ焼却施設はごみピットしか使われておらず、焼却炉は令和2年度から停止しているとのこと。この焼却炉はオキシダント対策で新たに建設した新しいものだとの認識しています。（私だけでなく和歌山市民はそう思っています。） ごみが少なくなったから停止したとのことですが、ごみ焼却能力の見通しが間違っていたのですね。 全く税金の無駄使い、いや、詐欺ですよ。そうするとダイオキシン対策はやってないということになります。こんなことで市民の健康が守られるのでしょうか。これらの事実を市民に説明してください。 <理由2>新しい青岸クリーンセンターのごみ焼却施設を改造して少量のごみ焼却に対応できるようにならないのでしょうか。本基本計画書（案）にはこのような検討はないように思います。	<1> 青岸エネルギーセンターは平成14年にダイオキシン類低減対策工事を行い、現在も排ガスの排出基準を下回る運転を行っています。 <2> 青岸クリーンセンターは、設備更新を行っても、ごみを貯めるピット容量が不足しているため、毎年の焼却炉の点検期間はごみを外部に処理委託する必要があります。また、令和15年には竣工後35年を経過し、建物の使用年数を考慮すると、更新後の稼働期間は、15年程度しか使用できないため検討を終了しました。 なお、ごみ焼却施設は高温・多湿や腐食性の環境で稼働しているため耐用年数が短いとされており、一般廃棄物処理事業実態調査によると、平均供用年数は30.5年となっています。

	(立替ありきだと思います。市民の血税をなんとか考えているのでしょうか) 原発だって 40 年以上の稼働を目指して設備改造しながら長期間運転しているのだからできないことはないでしょう。 ＜その他＞私の意見として提出しますが、これは、市民全員の意見として受け取っていただきたい。市民は、今でも青岸クリーンセンターの焼却施設がダイオキシンを出さずに稼働していると思っています。市民を騙さないで事実をあからさまに出してください。	
105	ざっと見ただけで、最も疑問と懸念が大きいのは、「従来方式(直営+運転委託)」から「公設民営方式(DBO方式)」への事業方式の変更です。従来方式の何が問題で、DBOなら何故、どうやって改善されるのか？なぜ公共の負担が軽減され、経費平準化が図れると言えるのか、根拠も道筋も全く示されていません。 これでは、民営化ありき(もしかすると、業者の目星も含めて)の前提で、あと付けの理由をそれらしく書いているだけ、と疑われても仕方がないと思います。 民営になった場合、将来にわたって安定的に、環境負荷の少ないごみ処理が目指されていくのか？排気や残渣の処理が適切に行われるのか？他の地域から、危険な廃棄物が持ち込まれて処理されるような事は絶対に起こらないのか？などが強く懸念されます。 こういった事をチェックする体制はきちんと構築されているのでしょうか？ 大規模災害時の運営がどうなるのか？ごみ処理の値上げ(指定ゴミ袋の値上げ・粗大ごみ有料化など)が行われるのではないかとといった懸念もあります。 そもそもごみ処理は、純粋に利益を求めるような事業ではなく、だからこそ営利を目的とする民ではなく、公共が行うのだと思います。利益は出ない(出にくい)が、市民生活に欠かせない事業を行うのが、行政の大事な役目ではないのでしょうか？ もしも、公務員削減による市役所の人員不足のために直営が困難なのであれば、職員増を要求していくべきだと思います。状況が理解されれば市民の多くも協力するのではないのでしょうか？	建設と運営をトータルで発注すること(DBO方式)で建設工事及び運営事業の競争性を高め、事業費の低減が見込まれます。また、それに伴い運営期間の財政負担を平準化することが可能となります。 DBOは民営化ではなく、現在と同じ、民間委託という形態での運営となります。また、管理責任は市であり、今後も職員を配置して運営管理を行います。

106	なぜ今と同じ直営ではダメなのか？ 「公設民営方式（DBO方式）」が最適であるとの結論だが、説明を読んでもよく分からない。「導入可能性検討の結果及び市場調査における参加意向を踏まえ」と書かれているが、詳しい説明が欲しい。 そもそもインフラは直営で行政が責任をもって管理運営するものだと考えるが、和歌山市はそうは思わないのか？ 南海トラフなど大災害のとき、インフラ運営が民間企業だと不安がある。 20年後はどうなるのか？直営だと心配はないが、民間企業だと先行きが不安だ。	
107	施設整備費が 611 億円以上。20 年間の運営管理費が 329 億円以上。聞くとおとところによれば建設候補地への道路、電気、水道などの整備費は含まれていないばかりか、どれくらい費用が掛かるかも明らかにされていないとのこと。市民への説明会や質問会も開かず突然のパブリックコメント。このようなやり方で市民がどんな意見が言えるのか。あまりにも市民をないがしろにした市のやり方に非常に腹立たしいです。	令和 6 年 9 月に「和歌山市ごみ処理施設整備基本計画（案）」を作成し、定例市議会に報告の上、パブリックコメントを実施しました。今後予定しています住民説明会で説明します。 今回の意見募集の周知については、和歌山市ホームページ、SNS 等を活用し行ったところではありますが、今後は市報、回覧等も活用し幅広く知っていただけるよう努めてまいります。
108	この件について市民への情報周知があまりに不足していた、という事を指摘したいと思います。普段から、社会や市政についての意識・関心が強い人たちでも、ごく最近まで何も知りませんでした。私も然りです。従って、計画案を十分に読んで検討する、という事は出来ていません。またパブコメの募集期間が年末年始を挟む、多忙な時期に限られていた、ということにも大いに疑問と不満を感じます。	
109	募集期間について、12 月 12 日から 1 月 10 日までは市役所の休みが入っていてパブコメについて知ったのは 1 月に入ってからでした。時期が適切ではありません。	
110	この問題を単独で考えるのではなく、総合的な街づくりや予算論議の中で検討してほしい。	今後も市議会等の場で事業の進捗状況等を報告し、理解を求めてまいります。
111	十分議会で話し合ってほしいです。拙速にことを進めないでください。お願いします。	
112	40 年立替が必要であるならば、当然積立金はあると思うのですが。いかほどあるのでしょうか。	積立金はありません。

113	ごみの有料化は今のサラリーマンの年収では、和歌山市の人口がますます減少するのでは。	貴重なご意見として承ります。 今後のごみ行政の参考とさせていただきます。
114	搬送路も場所が変更されるので、県道 752 号線の紀の川大橋と北岸道路（右岸道路）に北島橋詰より紀の川大橋までの間に集中すると思われるが、対策はあるのか？	
115	大型ごみについても有料化が出てきていると聞きますが、ごみが無料であることは生活する上で、とても大切なことで、ここに私たちの税金を投入して下さい。災害ごみの時を考えるとごみを少なくすることと無料で処理してもらうことは相反することではないと思います。	
116	粗大ごみの有料化は、不法投棄を誘発・助長し、その処理に莫大な費用がかかる、という逆効果を生む恐れが強いです。粗大ゴミの減量化には、使用可能な物品の再活用ルートを整備し、市民に周知する方がよほど効果的だと思います。また、使用不能物品と、使用可能な物品とに仕分けて出してもらい、市の方で再活用ルートに乗せるのもよいでしょう。	
117	今後どの様にごみ収集をされていくのか。	メタン発酵設備の設置に伴う分別方法の変更は考えていません。
118	資源ごみの再利用の現状を知らせてほしい。	基本計画（案）P3 図 2-1 に示しています。分別された資源ごみは選別され、リサイクルや再生処理を行っています。